

保健学科教育学修プログラム

看護学専攻

令和2年度前期

4年次

【米子地区授業時間】

1時限	: 8:40 ~ 10:10
2時限	: 10:30 ~ 12:00
3時限	: 13:00 ~ 14:30
4時限	: 14:50 ~ 16:20
5時限	: 16:40 ~ 18:10

【鳥取地区授業時間】

1時限	: 8:45 ~ 10:15
2時限	: 10:30 ~ 12:00
3時限	: 13:00 ~ 14:30
4時限	: 14:45 ~ 16:15
5時限	: 16:30 ~ 18:00

令和2年度 授業時間配当表(保健学科看護学専攻4年次)

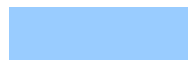
	前 期									
	前半(8)					後半(8)				
	月	火	水	木	金	月	火	水	木	金
1	医療コミュニケーション	臨地実習	臨地実習	臨地実習	臨地実習	統合実習	臨地実習	臨地実習	臨地実習	臨地実習
2	統合実習	臨地実習	臨地実習	臨地実習	臨地実習	統合実習	臨地実習	臨地実習	臨地実習	臨地実習
3	臨地実習	臨地実習	臨地実習	臨地実習	臨地実習	看護学課題研究	臨地実習	臨地実習	臨地実習	臨地実習
4	臨地実習	臨地実習	臨地実習	臨地実習	臨地実習	臨地実習	臨地実習	臨地実習	臨地実習	臨地実習
5	臨地実習	臨地実習	臨地実習	臨地実習	臨地実習	臨地実習	臨地実習	臨地実習	臨地実習	臨地実習

	後 期									
	前半(8)					後半(8)				
	月	火	水	木	金	月	火	水	木	金
1	看護学課題研究	国際看護学	死生学			看護学課題研究	国際看護学			
2	公衆衛生看護学Ⅱ	国際看護学			災害ボランティア		国際看護学			災害ボランティア
3	公衆衛生看護学Ⅱ	国際看護学					国際看護学			
4		国際看護学					国際看護学			
5										

* 助産診断技術学演習Ⅱ 9、11、1、2、3月に集中講義



生命・検査との合同講義



検査との合同講義

16週制

令和2年度・七曜表

(生命科学科・保健学科)

	前 期							週 数
	日	月	火	水	木	金	土	
4				1	2	3	4	1
	5	6	7	8	9	10	11	2
	12	13	14	15	16	17	18	3
	19	20	21	22	23	24	25	4
	26	27	28	29	30	1	2	5
5	3	4	5	6	7	8	9	6
	10	11	12	13	14	15	16	7
	17	18	19	20	21	22	23	8
	24	25	26	27	28	29	30	9
6	31	1	2	3	4	5	6	10
	7	8	9	10	11	12	13	11
	14	15	16	17	18	19	20	12
	21	22	23	24	25	26	27	13
7	28	29	30	1	2	3	4	14
	5	6	7	8	9	10	11	15
	12	13	14	15	16	17	18	16
	19	20	21	22	23	24	25	17・試
	26	27	28	29	30	31	1	試験
8	2	3	4	5	6	7	8	再試
	9	10	11	12	13	14	15	
	16	17	18	19	20	21	22	
	23	24	25	26	27	28	29	
9	30	31	1	2	3	4	5	
	6	7	8	9	10	11	12	
	13	14	15	16	17	18	19	
	20	21	22	23	24	25	26	
	27	28	29	30				

	後 期							週 数
	日	月	火	水	木	金	土	
10					1	2	3	1
	4	5	6	7	8	9	10	2
	11	12	13	14	15	16	17	3
	18	19	20	21	22	23	24	4
	25	26	27	28	29	30	31	5
11	1	2	3	4	5	6	7	6
	8	9	10	11	12	13	14	7
	15	16	17	18	19	20	21	8
	22	23	24	25	26	27	28	9
12	29	30	1	2	3	4	5	10
	6	7	8	9	10	11	12	11
	13	14	15	16	17	18	19	12
	20	21	22	23	24	25	26	13
1	27	28	29	30	31	1	2	
	3	4	5	6	7	8	9	14
	10	11	12	13	14	15	16	15
	17	18	19	20	21	22	23	16
	24	25	26	27	28	29	30	17・試
2	31	1	2	3	4	5	6	試験
	7	8	9	10	11	12	13	再試
	14	15	16	17	18	19	20	
	21	22	23	24	25	26	27	
3	28	1	2	3	4	5	6	
	7	8	9	10	11	12	13	
	14	15	16	17	18	19	20	
	21	22	23	24	25	26	27	
	28	29	30	31				

備考

- ◇ 前年度3月末営業日 進級生オリエンテーション
- ◇ 5月7日(木) 月曜日授業
- ◇ 6月1日(月) 開学記念日
- ◇ 7月31日(金) 定期試験期間開始
- ◇ 8月6日(木) 定期試験期間終了
- ◇ 8月7日(金) 再試験期間開始
- ◇ 8月21日(金) 再試験期間終了
- ◇ 未 定 TOEIC(進級生対象)
- ◇ 未 定 大学入門ゼミ(保)
- ◇ 未 定 大学入門ゼミ(生)

- ◇ 1月14日(木) 月曜日授業
- ◇ 1月15日(金) 午前のみ金曜日授業
- ◇ 2月3日(水) 定期試験期間開始
- ◇ 2月9日(火) 定期試験期間終了
- ◇ 2月10日(水) 再試験期間開始
- ◇ 2月24日(水) 再試験期間終了

 課題による自宅学習及び体調観察期間

Q1 月曜授業 火曜授業 水曜授業

Q2 月曜授業 火曜授業 水曜授業

 木曜授業 金曜授業

 木曜授業 金曜授業

保健学科看護学専攻4年次目次

3年次～前期

	区分	授業科目名	
必修	専門科目	成人看護学実習Ⅰ	 3年次参照
必修	専門科目	老年看護学実習	 3年次参照
必修	専門科目	母性家族看護実習	 3年次参照
必修	専門科目	小児家族看護学実習	 3年次参照
必修	専門科目	公衆衛生看護学実習	 3年次参照
必修	専門科目	精神看護学実習	 3年次参照
必修	専門科目	在宅看護学実習	 3年次参照

前期

	区分	授業科目名	
選必	専門科目	医療コミュニケーション	 1
必修	専門科目	成人看護学実習Ⅱ	 2

通年

	区分	授業科目名	
必修	専門科目	統合実習	 3
必修	専門科目	看護学課題研究	 4
選択	専門科目	助産業務管理実習	 5
選択	専門科目	助産学実習	 6

※選択科目：選択、選択必修科目：選必、必修科目：必修は平成29年度入学者を基準としています。

※主題、基幹（人文・社会分野）から卒業までに15単位以上修得してください。

※専門科目については、課程表を確認してください。

※助産師の取得を目指す者は、助産診断技術学演習Ⅱ、助産業務管理実習、助産学実習を修得してくださ

授業のレベルについて

- 1: 入門及び初級レベル
- 2: 中級レベル（基礎科目）
- 3: 中級～上級レベル（応用科目）
- 4: 上級レベル（発展科目）
- 5: 大学院レベル

医療コミュニケーション

科目到達目標:

医療従事者として、患者や家族および他の医療職者との良好な人間関係を構築するために、必要な態度とコミュニケーションに関する基本的知識ならびに技能を習得する。

科目責任者(所属):藤原 由記子(基礎看護学), 深田 美香(基礎看護 連絡先:アレスコ棟1階 教員室107室 TEL 0859-38-6307 E-mail awanou@tottori-u.ac.jp

回数	月日	時限	講義室	授業内容	担当者	講座・分野・診療科	到達目標	授業のキーワード
1	4/20(月)	1	262	医療コミュニケーションとは何か	藤原 由記子	基礎看護学	コミュニケーションの目的や方法について基礎知識を習得できる	伝達、共感、共有、人間関係、感情、内省
2	4/27(月)	1	262	コミュニケーション能力を進行性に失っていく患児への対応について	二宮 治明	生体制御学	双子の姉妹がニーマン・ピック病C型に罹患した一家の事例を学び、両親の対応に共感できるか否かを体験する。	ニーマン・ピック病C型、知的退行
3	5/7(木)	1	262	医療者として、患者・家族、医療者間でのコミュニケーション:何を、どう伝えるか? どう伝わるのか?	鈴木 康江	母性・小児 家族看護学	基本的なコミュニケーションマナーを踏まえ、患者・家族とのコミュニケーション、医療チームとのコミュニケーションスキルを習得する	マナー、態度、クッション言葉、指示受け、報告、連絡、相談、正確な情報伝達、家族、チーム医療
4	5/11(月)	1	262	コミュニケーションに困った時、困った人とのコミュニケーション	吉岡 伸一	地域・精神 看護学	医療現場におけるコミュニケーションの技術、要点、困った時や困った人との対処などについて、必要な技術・スキル・マインドについて理解し、実践できる。	コミュニケーション技術・マインド・スキル、ジョイニング
5	5/18(月)	1	262	なぜ実習で報告・相談を苦手に感じてしまうのか	藤原 由記子	基礎看護学	報告・連絡・相談を行う時の自己のコミュニケーションの特徴を振り返ることができる。自己の強みとなるコミュニケーション能力について述べるができる。	ジョハリの窓、アサーティブ、報告・相談に必要な準備
6	5/25(月)	1	262	コミュニケーションと倫理	大庭 桂子	成人・老人 看護学	医療者を目指す者として、臨床の場で、倫理的に行動するために必要な思考とコミュニケーションのあり方について、事例を通して考えることができる。	倫理、倫理原則、連携、コミュニケーション能力
7	6/8(月)	1	262	医療説明(疑似体験)	下廣 寿	病態検査学	医療従事者として検査結果を伝えるスキルを習得する。	検査結果、対話、シミュレーション
8	6/15(月)	1	262	医療従事者に必要なコミュニケーション	藤原 由記子	基礎看護学	医療従事者としてのコミュニケーションスキルについて考察し、自己の課題を具体的に見出すことができる	コミュニケーションの目的、自己の成長、医療従事者としての責任

教育グランドデザインとの関連:1,2,3,4,5,6,7

※到達目標・授業のキーワードを確認の上、予習・復習してください。

学位授与の方針との関連:1,2,3,4

授業のレベル:3

評価:各演習後レポート 各演習後レポート 70% 全演習後レポート 30%

実務経験との関連:看護師、臨床検査技師、医師などの業務に携わった経験のある教員が、その経験を活かし、各人の専門分野に関する 講義・演習を行う

教科書:各講義時に、プリントを配布する

成人看護学実習Ⅱ(臨地実習4年次前期)

科目到達目標:

1. 周手術期にある対象者・重症集中治療を受ける対象者の身体的、心理的そして社会的特徴やニーズを、対象の回復段階ごとに理解できる。
2. 周手術期にある対象者が辿る一連の回復過程(術前期から手術、手術侵襲からの回復期、リハビリテーション期、退院まで)を観察または予測し、計画的・意図的に周手術期における継続的な看護が展開できる。
3. 健康障害、治療法がもたらす心身の機能低下、生活への影響を理解し、対象者の回復段階に応じた看護援助が実施できる。
4. 対象者にかかわる医療チームの一員としての看護師の役割について理解し、他職種との連携、協働について学びを深めることができる。
5. 高度医療現場で治療を受ける対象者やその家族に対する看護師の役割、介入の視点、他の医療チームとの連携について学ぶことができる。
6. 対象者の看護を通して、自己のかかわりを客観的に捉え、生涯にわたり専門性を深めていくための基礎となる能力を身に付けていくことができる。
7. 実習に伴う諸条件・実習場所での規律を遵守し、倫理観をもった行動ができる。

科目責任者(所属教室):野口佳美・中條雅美(成人・老人看護学) 連絡先:0859-38-6319

回数	月日	時限	講義室	授業内容	担当者	講座・分野・診療科	到達目標	授業のキーワード
1～68	別途指定		鳥取大学医学部附属病院 成人・老人看護学講座研究室	1)対象者:原則として1名の対象者を受け持ち、その対象者を通して周手術期看護のあり方について学ぶ。 ・受け持ち対象者:健康障害をもち周手術期にある 成人、65歳以下の対象者が望ましいが、状況によって70歳代になることもある。また、必ずしも術前から受け持てるわけではない。 2)担当教員および臨地実習指導者、看護師などの指導の下に、対象者への個別的ケアを実践する。 3)高度医療現場で治療を受ける対象者の特徴を理解すると共に、看護師の役割、介入の視点、他の医療チームとの連携・協働について学ぶ。	野口 佳美 中條 雅美 大庭 桂子 谷村 千華 酒井 知恵子 長谷川 慶幸 吉村 純子	成人・老人看護学	1. 周手術期・重症集中治療を受ける対象者の身体的、心理的そして社会的特徴やニーズを、対象の回復段階ごとに理解できる。 2. 周手術期・重症集中治療にある対象者が辿る一連の回復過程(術前期から手術、手術侵襲からの回復期、リハビリテーション期、退院まで)を観察または予測し、計画的・意図的に周手術期における継続的な看護が展開できる。 3. 健康障害、治療法がもたらす心身の機能低下、生活への影響を理解し、対象者の回復段階に応じた看護援助が実施できる。 4. 対象者にかかわる医療チームの一員としての看護師の役割について理解し、他職種との連携、協働について学びを深めることができる。 5. 対象者の看護を通して、自己のかかわりを客観的に捉え、生涯にわたり専門性を深めていくための基礎となる能力を身に付けていくことができる。 6. 実習に伴う諸条件・実習場所での規律を遵守し、倫理観をもった行動ができる。	周手術期看護、急性期、合併症、異常の早期発見、医療チーム、連携・協同、倫理観、専門性の追求

教育グランドデザイン:1、2、3、4、5、6

※到達目標・授業のキーワードを確認の上、予習・復習してください。

学位授与の方針との関連:1、2、3、4

授業のレベル:2

評価:実習態度、実習内容(カンファレンスの参加状況・資料提供、学習状況を含む)、実習記録内容・課題レポートによって総合的に評価

実務経験との関連:看護の臨床経験を持ち、専門的知識を持つ教員が周手術期にある患者の看護について、上記学習到達目標を達成できるよう支援する

指定教科書:なし

統合実習

科目到達目標: 実践的学問である看護学の発展に寄与するための知識、実践、研究の繋がりを理解し、実践の中で研鑽していく基礎的な能力を高める

科目責任者: 看護学専攻主任

連絡先: Email bmharu9@tottori-u.ac.jp

回数	月日	時限	講義室	授業内容	担当者	講座・分野・診療科	到達目標	授業のキーワード
1～24	別途通知	別途通知	未定	学生は看護学専攻4講座のいずれかに所属し、統合実習を行なう。所属講座の希望調査を行い、所属講座を決定する。 4年生前期から後期にかけて、各講座で準備しているプログラムにより実施する。	看護学専攻教員	基礎看護学 成人・老人看護学 母性・小児家族看護学 地域・精神看護学	実践的学問である看護学の発展に寄与するための知識、実践、研究の繋がりを理解し、実践の中で研鑽していく基礎的な能力を高める	看護理論、生活援助技術、基礎看護技術、リハビリテーション、運動機能、生命倫理、遺伝 知識・技能・態度等の総合的活用、現象、論理的分析・理解、課題の明確化と課題解決能力の育成 フィジカルアセスメント、基本的看護技術、プレパレーション、健康教育、助産学と研究、助産活動と健康教育、助産活動と公衆衛生 ヘルスプロモーション、生活者、地域住民の健康課題解決、個人・家族への個別的支援、サービス提供体制、社会基盤整備

教育グランドデザインとの関連: 2、3、4、5、6、7

※授業目的・目標を達成するために自己学習が必要です。内容は別途具体的に提示

学位授与の方針との関連: 1、2、3、4

授業のレベル: 4

評価: 評価表に沿って到達目標の達成度、学習への参画状況などにより総合的に評価する。

実務経験との関連: 看護師としての実践経験のある教員が、臨床判断とそれに基づく看護実践について学生の思考と実践を支援する。

その他: 看護学生の臨床実習用損害賠償保険に加入しなければ受講できない

看護学課題研究

科目到達目標: 具体的な看護実践への課題や専門職としての責務や役割についての課題を見出し、看護実践に対する創造性の追求、看護学の発展の追求、看護専門職としての社会的責務という観点からの専門性の追及を行う。さらに、看護実践によってもたらされた現象や反応を客観的に捉え、科学的に追求し、論理的に論述する能力を高める。

科目責任者: 看護学専攻主任

連絡先: Email bmharu9@tottori-u.ac.jp

回数	月日	時限	講義室	授業内容	担当者	講座・分野・診療科	到達目標	授業のキーワード
1～24	別途			学生は看護学専攻4講座のいずれかに所属し、統合実習を行なう。 所属講座の希望調査を行い、所属講座を決定する。 4年生前期から後期にかけて、各講座で準備しているプログラムにより実施する。	看護学専攻 教員	基礎看護学 成人・老人看護学 母性・小児家族看護学 地域・精神看護学	具体的な看護実践への課題や専門職としての責務や役割についての課題を見出し、看護実践に対する創造性の追求、看護学の発展の追求、看護専門職としての社会的責務という観点からの専門性の追及を行う。 さらに、看護実践によってもたらされた現象や反応を客観的に捉え、科学的に追求し、論理的に論述する能力を高める。	看護理論、生活援助技術、基礎看護技術、リハビリテーション、運動機能、生命倫理、遺伝 知識・技能・態度等の総合的活用、現象、論理的分析・理解、課題の明確化と課題解決能力の育成 フィジカルアセスメント、基本的看護技術、プレパレーション、小児の健康教育、助産学と研究、助産活動と健康教育、助産活動と公衆衛生 ヘルスプロモーション、生活者、地域住民の健康課題解決、個人・家族への個別的支援、サービス提供体制、社会基盤整備

教育グランドデザインとの関連: 2、3、4、5、6、7

※授業目的・目標を達成するために自己学習が必要です。内容は別途具体的に提示します。

学位授与の方針との関連: 1、2、3、4

授業のレベル: 4

評価: 評価表に沿って到達目標の達成度、学習への参画状況などにより総合的に評価する。

実務経験との関連: 看護師、または医師として実践経験を持つ教員が、各自の専門分野に関する研究指導を行う。

参考書: 別途提示する。

助産業務管理実習

科目到達目標: 助産施設での助産管理の実際を知り, 実践できる.

科目責任者(所属): 鈴木 康江(母性・小児家族看護学) 連絡先: 38-6326(内線: 6326)、ysuzuki@tottori-u.ac.jp, アレスコ棟306研究室

回数	月日	時限	授業内容	担当者	講座・ 分野・診療科	到達目標	授業のキーワード
1週	別途指定	別途 指定	* (医学部附属病院3A病棟) (鳥取県立中央病院) (山陰労災病院) (母と子の長田産科婦人科クリニック) (ミオ・ファティティクリニック) で実施する。	鈴木 康江 大谷 多賀子 大島 麻美 佐々木 くみ子	母性・小児 家族看護学	各科目の到達目標は、別刷りの 「臨床実習マニュアル」に記載して いるので、参照されたい。	助産管理 地域周産期医療 周産期システム 産科補償制度 医療法等の法制と助産管理 災害・危機管理

教育グランドデザインとの関連: 1、2、4、5、6、7

学位授与の方針との関連: 1、2、3、4

授業のレベル: 記入ください。

評価: 実習記録, 実習に対する態度等添付の評価表に基づいて評価する.

実務経験との関連: 助産実践の経験を踏まえた指導をする(アドバンス助産師)

指定教科書: 看護学専攻 実習共有ガイダンス, 実習要項, 助産実習要項(鳥取大学医学部保健学科編)

その他: 無断欠席、遅刻は、厳に慎むこと。

実習時間については、教員連絡会で具体的に説明いたします。

到達目標・授業のキーワードを確認の上、予習・復習してください。

担当者は変更する場合がある。

助産学実習

科目到達目標:助産介助等助産師として必要な診断能力や技術を実習し、修得できる

科目責任者(所属): 鈴木 康江(母性・小児家族看護学)

連絡先:38-6326(内線:6326)、ysuzuki@tottori-u.ac.jp,
アレスコ棟306研究室

回数	月日	時限	講義室	授業内容	担当者	講座・ 分野・診療	到達目標	授業のキーワード
10週	別途指定	別途指定		* (医学部附属病院3A病棟) (鳥取県立中央病院) (山陰労災病院) (母と子の長田産科婦人科クリニック) (ミオ・ファティティクリニック) を利用して実施する。	鈴木 康江 大谷 多賀子 大島 麻美 佐々木 くみ子	母性・小児 家族看護学	各科目の到達目標 は、別刷りの「臨床実 習マニュアル」に記載 しているので、参照さ れたい。	助産診断 助産過程 保健指導 妊婦健診 分娩介助 間接介助 新生児ケア 産褥期ケア 退院指導 家族計画指導 継続事例

教育ブランドデザインとの関連:1、2、4、5、6、7

学位授与の方針との関連:1、2、3、4

授業のレベル:3

評価:実習記録、実習に対する態度等添付の評価表に基づいて評価する。

実務経験との関連:助産実践の経験を踏まえた指導をする(アドバンス助産師)

指定教科書:看護学専攻 実習共有ガイダンス、実習要項、助産実習要項(鳥取大学医学部保健学科編)

その他:無断欠席は厳に慎むこと。

担当者は変更する場合がある。

到達目標・授業のキーワードを確認の上、予習・復習してください。

実習時間については、教員連絡会で具体的に説明いたします。

助産学実習を履修するためには、4年生前期科目(必修科目)の履修を全て修得(見込み可)できていること